

豊橋市自治連合会だより

第9号 発行部数 123,000部

発行 豊橋市自治連合会 平成28年3月発行
 事務局 豊橋市市民協働推進課内 TEL 0532-51-2482
<http://www.toyohashijichiren.jp/>

住みたいまち 住んでよいまち 豊橋

自治連合会長あいさつ



豊橋市自治連合会
会長 太田 昌利



副会長
小林 弘幸



副会長
山本 和男



副会長
小林てる子

日頃は、自治会活動に格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

豊橋市自治連合会は、51校区440町自治会で構成されています。自治会の歴史は、昭和28年豊橋市総代会として誕生し、その活動振りにはご承知のとおりで、先人・先輩たちに深く感謝いたします。

「自らのことは住民自らで治めて、こう」というスローガンの下、平成19年、総代会から豊橋市自治連合会として新たな決意で発足されました。

現在、少子高齢化がすすみ、政治も経済も、社会情勢もたいへん厳しい時代です。

そのような中、自治連合会では、3つの柱を

- 自治会運営の透明化の推進
- 効果的・効率的な自治会活動の推進
- 組織の強化と地域コミュニティの活性化

と掲げ、私たち一人ひとりが地域の連帯と絆をしっかりと構築し、より安全・安心な「豊橋」のまちづくりをめざして精進してまいりたいと考えております。

本年度は執行部体制も変わり、新たな決意で目標に向って走りだしました。交通安全防犯防災はじめ多くの課題が山積しています。

昨年4月、ネパールで大地震が発生し、私たち自治連合会は地域の皆様のご協力により、多くの救援金をいただきました。そして、国際連合児童基金(ユニセフ)を通じて、救援活動に動きました。また、懸案であった通称「緑のおばさん」と交通安全指導員の全校区配置を訴え、豊橋市長にその意を受けとめていただき、実現の運びとなりました。

豊橋に住んでよかったと多くの市民から言われるように、今後も一生懸命がんばっていき、覚悟です。皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

平成27年度

定期大会開催

提言「27定期大会」を採択

平成27年6月30日豊橋市公会堂にて、多数の来賓によるご臨席のもと、定期大会が盛大に開催されました。

地域住民一人ひとりが地域の連帯と絆をしっかりと構築することの重要さに触れ、より安全・安心なまちづくりを目指したいとの太田自治連合会会長のあいさつで幕を開きました。

永年にわたり校区自治会長(12名)、町自治会長(84名)として活躍された方々への表彰状が、また、平成26年度で退任された校区自治会長(9名)、町自治会長(82名)への感謝状が贈呈されました。続いて、平成26年度の事業報告と決算、平成27年度の事業計画と予算が報告されました。さらに、「自らのことは、住民自らで治めていこう」をスローガンに、提言「27定期大会」が採択されました。

- 自治会運営の透明化の推進
- 効果的・効率的な自治会活動の推進
- 組織の強化と地域コミュニティの活性化



ネパール大地震に救援金を寄付

豊橋市自治連合会は、平成27年4月25日に発生した大地震で甚大な被害を受けたネパールを支援するため、東日本大震災の際にご支援をいただいたお礼の気持ちと、被災者の中でも苦しんでいる子どもたちの役に立てばとの思いから、いち早く校区、町自治会を中心に地域の皆様へ救援金の呼びかけを行いました。

ユニセフより贈られた感謝状



お寄せいただいた救援金は、1,037万円にものぼり、ユニセフを通じて被災地へとお届けしました。たくさんのご協力に感謝申し上げます。

市長からの言葉



豊橋市長 佐原 光一

平素より、市政の推進にあたり、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、自治連合会の皆様には、防災、防犯、交通安全など様々な活動を通じて、安心で安全な、明るく住み良いまちづくりのために日々ご尽力いただいておりますことに、心から敬意を表します。

さて、今年、8月1日に市制施行110周年を迎えます。この節目の年に、改めて本市の礎を築かれた先人の方々への敬意と感謝を忘れず、今度、自分たちのまちに目を向け、新たな魅力や活動を生み出すきっかけの年としてまいりたいと思います。

貴会におかれましても、110周年事業として、地域の持つ「つながり」を力にして、本市の魅力を再発見するイベントを開催していただけると伺っております。この記念事業により、地域の歴史や文化などのさまざまな魅力や内外に発信され、新たな出会いや交流、ふれあひにつながることをご期待申し上げます。

最後に、自治連合会の皆様には、今後とも、魅力と活力に溢れたまちづくりのパートナーとして、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、貴会のみならず、ご発展を心よりご祈念申し上げます。

市長へ要望書提出

平成27年10月7日、市へ要望書を提出しました。回答は翌年1月開催の第7回理事会で報告されました。

◆要望内容

- ①交通安全指導員の配置について
- ②校区市民館の整備について



佐原市長と自治連合会執行部役員

市長との懇談会開催

平成27年5月13日、「超高齢社会の現状と取り組みについて」をテーマとし、高齢者の生きがい・健康づくりへの取り組みについて意見を交わしました。

まず、高齢者の生きがいについては、「居場所づくり」や、地域のボランティアによる「支え合い活動」の活性化など、互助の力を高める取り組みを進めていくとの報告がありました。一方、健康づくりについては、健診やウォーキング等で楽しみながらポイントを貯める「とよはし健康マイレージ事業」の実施について説明がありました。

次に、民生委員児童委員の受け持ち世帯数が地域によって大きな差があることについて質問しました。市からは、本年度に行われる改選の際に地域からのご要望や実情を基に、平成28年度の民生委員一斉改選時に定数の見直しを行うと回答されました。

最後に、「特別養護老人ホーム」を平成29年に1事業所、認知症高齢者が共同生活される「グループホーム」を平成28年度に2事業所、29年度に1事業所整備を予定しているとの紹介がありました。

さらには、在宅介護サービス充実するため、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を28・29年度に各2事業所、「小規模多機能型居宅介護」を28年度に2事業所、29年度に1事業所整備を予定していることが紹介されました。



意見交換と市長との自治連合会

視察記

●京都市を視察して

平成27年5月28日、京都市で市民防災センターを視察しました。地震体験、強風体験、煙体験、地下街浸水バーチャル体験などを通して防災学習を深めました。迫力満点、リアルな映像で、災害の実態を体感することができました。

市民防災センターは、一般財団法人京都市防災協会によって運営され、その目的は、災害時に不可欠な防災知識や行動を「見る」「聞く」「触れる」「感じる」ことで学び、くらしの安全を守るための防災意識や行動力を高めることです。

「天災は忘れた頃にやってくる」と言われます。いつ大災害が平和な生活を襲うかは誰にも分かりません。普段から災害時に適切な判断や行動のできる力を身につけておきたいものです。

●奈良市を訪問して

翌29日に訪問した奈良市は人口、面積、世帯数、市制施行年度、当初予算など、豊橋市とほぼ同じです。

奈良市自治連合会では、自治会の役割の再検討や持続的発展のためのあり方などについて市と協議を重ね、自治会組織の活性化対策に取り組んでいます。

地域には、民生児童委員、消防団分団、女性防火クラブ、学校、PTA、自主防火防犯組織、商店企業、NPO、ボランティアなど様々な組織があります。しかし、互いに議論し、町の課題や将来像について話し合うことは少ないのが現状です。奈良自治連合会では、行政の関係部局が行う一律の政策でなく、地域固有の課題や特性に対応するため、住民主体で自分たちの地域の実情や将来の夢を議論し、考えることにより、個性豊かで愛着のある地域づくりを目指しています。

少子化、高齢化、情報化、グローバル化など、社会は大きく変化しています。これらの変化に地域としてどう対応していくのか、住民の知恵を集めることが必要になってきていると感じました。



奈良市と意見交換

●富山市を訪問して

平成27年11月9日、10日の二日間にわたり、富山市を訪問しました。豊橋市とほぼ同じ世帯数の都市にも関わらず、市役所の置かれている環境は、さすが県庁所在地などの実感でした。

豊橋の四・七倍もの面積を有する富山市は、コンパクトシティづくりが全国的にみて最も進んでいる都市の一つと言われています。

一方で住民の立場から見ると、不便は感じないのが、また郊外に生活している住民のサービステラにならぬのかの考えのもと、9日は自治振興連絡協議会の役員との意見交換を富山市役所の会議室で行いました。

富山市の広い地域をカバーするために、郊外の駅を核として、まちづくりが行われているとの説明を頂きました。豊橋であれば、二川や大清水のような所と感じられました。

また、全ての小学校区には、市民館と併設して市の出先機関が設置されているとのこと。市中心部に行かなくても、普段の生活は地域でまかなえるとのことでした。



ボランティアによる岩瀬地区案内

翌日は、富山市のまちづくり事例の一つ、岩瀬地区の見学に出かけました。

富山駅よりライトレールに乗り、富山湾近くの東岩瀬駅まで豊橋の市電よりスピードアップされ、デコレーションされた電車で移動し、「岩瀬案内グループボランティア」のガイドで、岩瀬地区の様子を見聞きました。

岩瀬地区は昔、北前船廻船問屋で栄えた地域です。現在再開発が進み、まちづくりに取り組んでいます。そこに住んでいらっしゃる皆さんの、地域開発と発展に対する思いに大いに感動し、ガイドの説明に耳を傾けました。

二日間の視察を通して、地方都市のおかれた立場を理解するとともに、微力ながら今後の豊橋のまちづくりのために活動したいと思いました。

第61回 ええじゃないか豊橋まつり

10月17日土・18日日

参加者のべ62万人を盛り上げたクイーンダンスと微笑み



クイーンと自治会長が勢ぞろい

公会堂で記念撮影

市内51校区自治会から推薦された第56代目クイーンの皆さんは、今年もそれぞれの校区の代表としての誇りを胸に、豊橋まつり2日間をがんばりました。

豊橋球場でのオープニングセレモニーに始まり、老人ホーム訪問、ええじゃないか舞踊三昧、総おどり、パレカ等々、クイーンが訪れる場所は、どこも笑顔と歓声のオンパレードでした。



素敵な衣装で、ちょっと緊張気味のクイーン
衣装提供は三菱レイヨン株式会社(豊橋事業所)

オープニング



若さと元気を届けるクイーン
明るい笑い声にあふれていました

老人ホーム訪問



はじけるような笑顔のクイーン

こども総おどり



今年のダンス曲は「恋のフーガ」。練習の成果を十分に
発揮しました。振付指導は鈴木馨先生

パレカ

改めてクイーンの皆さんの果たす役割の大きさを強く感じる2日間でした。

クイーンの皆さんには、それぞれの校区にもどられてからも明るく、さわやかな笑顔と行動力で活躍していただきたいと思っています。



マツケンのはええじゃないかⅡ/新豊橋とんとん唄/豊橋音頭
駅前大通りも広小路も、人、人、人。その中でも光り輝いていたクイーン

総おどり

豊橋市と自治会の絆を深める「豊橋まつり」。クイーンの皆さん、ありがとうございました。

三世代ふれあいレクスポ大会

大清水校区

第23回大清水校区三世代ふれあいレクスポ大会が、6月13日(土)に大清水地区体育館で、体育委員会を中心に、各種団体に運営委員をお願いして開催されました。

この行事は、お年寄りから子どもまでの三世代が一堂に集い、強い「絆」を育む「明るく住みよいまちづくり」運動の一環として行います。

当日は園児から80歳を過ぎたお年寄りまでが5人で1チームをつくり、90チームが参加しました。見学者を含め総勢約650人。誰にでもできる輪投げペンタंकなどの七種目で得点を競い、老若男女が和気あいあいの雰囲気の中で大いに楽しみました。最後にチームの合計点で順位をつけ表彰しました。

その他、交通指導講話を聞き、交通安全宣言を唱和して交通安全を誓いました。そして、ポスター、職などにより、社団運動青少年健全育成の啓発活動も行いました。

また、しょうぶ園祭り写生会の全作品を展示し、優秀作品の表彰も行いました。アトラクションはしょうぶ

太鼓演奏、木遣り保存会と参加者による踊りがありました。

行事を行う中で思うことは、中高校生の参加を多くしたいということと、ふるさとでよい思い出を残して欲しいと思います。



三世代ふれあいレクスポ大会

二南フェスタ(納涼夏まつり)

二川南校区

「二南フェスタ」は、毎年、8月第1土・日曜日に開催されます。常日頃のこの地域は、昼間どこを向いても人づつ一人見られない、のどかな地域ですが、この二日間、広い二川南小学校が、グラウンドの土が見えないほどの町内外の人々で埋め尽くされます。参加人数は二日間で推定5千名強にもなる大きなイベントです。

老人会、子ども会、PTA主催の子どもコーナーなどを柱とし、屋台やステージなど様々な催しがあります。そこに二川南校区推薦の豊橋まつりクイーンが登場し、より一層まつりを盛り上げます。この様にして多種多様な趣向をまじえ、町内外の人々を酔わせております。

このまつりは、校区自治会主催で各種団体と有志の会などに協力いただいております。地域の人々が一体となり、交流を深めてまいります。

一方で、防災活動の役割も担っています。人が集まり、人が人を呼び、そして対話をする事で災害時に備えた地域コミュニティの輪を広げることが出来ます。

また、二川南校区にご協力いただきました多くの皆様方をこの招待し、交流を図る場となる大切なまつりでもあります。

是非一度遊びに来て頂き、夏のひと時を楽しく過ごして頂きたいと思っております。



二南フェスタ

平成27年度 豊橋市自治連合会 事業報告

I. 重点推進事項

- 1 明日の豊かなまちづくり
市民館を拠点に地域のコミュニティ活動の実施
- 2 安全で明るい市民生活を築くまちづくり
交通安全市民運動の推進
防犯活動の推進
- 3 青少年が健康で明るく育つまちづくり
青少年健全育成会を中心に、パトロールの実施
非行防止活動と明るい家庭づくりの実践
- 4 地震等災害から市民を守るまちづくり
危機管理体制の強化
自主防災会の充実と防災意識の高揚
(総合防災訓練への参加など)
- 5 美しく住みよいまちづくり
530運動および愛市憲章の実践と啓発
- 6 快適な暮らしを目指すまちづくり
資源、エネルギーを大切にすることの自主的な活動の推進

II. 一般推進事項

- 1 受託業務の実施
市行政の健全な発展を図るため、「広報とよはし」配布等市の業務について業務委託契約を締結
- 2 豊橋まつりへの参加
各校区自治会よりクイーンを選出し、イベントなどへ参加することにより市民の協調親睦に寄与する
- 3 共同募金、歳末たすけあい運動などの協力
地域で献血運動への協力
- 4 特別推進事項

III. 特別推進事項

- 1 2 1 自治会活動の充実と活性化の促進
市民協働によるまちづくりの推進

★市制施行110周年記念事業
スタンプリーのお知らせ

豊橋市自治連合会では、豊橋市制施行110周年記念事業として「地域の魅力・再発見！」出かけて、感じて、ええじゃないか豊橋」と題した、スタンプリーを実施します。

期間は、4月から来年の1月7日までで設定してあります。市内8ブロック32カ所のラリーポイントの中から、各ブロック1カ所以上参加し、合計10個のスタンプを集めてください。スタンプを集めた方は、1月7日に公会堂で行う「達成賞抽選会」に参加することができ、抽選で賞品が当たります。各ラリーポイントでは、各地域の自治会が工夫を凝らした「おもてなし」で皆さまをお迎えします。

『とよはし』の魅力を再発見できるこのスタンプリーにふるってご参加ください！

詳細は広報とよはし4月1日号をご覧ください。

編集後記

社会の変化が厳しく、将来の予測も難しい時期に入っていました。自治連合会は地域に一番近い立場にあります。この様な状況にこそ、皆様との結束をより一層強めるいい時期と捕え、共に歩んでまいります。

【編集委員】

山本和男、中山信廣、伊藤徹雄
坂田正俊、林 信雄